

南加岐卓県人会新年会

遠き郷里に思いを馳せながら、 方言話に花が咲く

先月24日に南加岐卓県人会新年会が、サウスベイで行われた。参加した会員24人は、和室で和気あいあいと鍋をつつきながらの家庭的なムードの中で親睦を深めた。

林茂県人会顧問の音頭で乾杯して始まった新年会では、新年度役員選挙も行われ、奥田サム会長はじめ全役員が再任した。また、岐阜県庁職員から、「昨年来、世界中が経済危機に瀕しておりますが、こうした時期こそ密な地域の連携、地縁、血縁を活かしたきめ細かいネットワークが求められております」とメッセージが届けられた。

鍋料理が始まると、参加者全員が自己紹介をし、それぞれが遠き岐阜の郷里の思い出話に聞き入った。特に、岐阜の方言話では次か

ら次と登場する懐かしい方言に、各テーブルからは思わず笑みがこぼれた。同会では、我部優子さんによる三味線の演奏と語りが披露されたり、チーム対抗の岐阜県を絡めたクイズの難問や珍問にチーム一丸となって正解を絞り出していた。優勝チームには賞品が贈られると、喜びの声に会場は包まれた。

同会の最後は、会員の健康を祈願して3本締めが行われ、新年の活動が開始された。

奥田会長は、恒例イベントに加え、他県人会との交流や若い会員による新企画も取り入れたり、ウェブサイトでのエッセイ欄を充実させたりしたいと今年の抱負を本紙へ寄せた。



話にゲームに大いに盛り上がった岐阜県人会新年会